

「愛されて強運になる」魔法の法則

15. “束縛”は“自信のなさ”の裏返し！

恐怖は愛、そして人生の最大の敵。恐れることはすべてを失うことです。
嫉妬は自分に対する自信のなさの証明である

マーフィー博士はこう言っています。 たしかに自信があるならば、嫉妬の感情はわいてこないでしょう。

けれども、人間はそれほど絶対的な自信を持てるわけではありませんから、時には嫉妬は避けられないものになります。

しかし、心の中に思い描いたことは実現するという潜在意識の法則に従えば、過度の嫉妬が自分自身にとってプラスになるとはとうてい思えません。 たとえば、こんな例があります。

深く愛し合って、めでたくゴールインしたカップルがありました。 しばらくはうまくいっていましたが、まもなく離婚するほどの危機に陥ってしまいました。 原因は夫の異常な嫉妬心にあります。 夫は妻を他人に見せるのも嫌がるほどでした。

一度などは自宅へお祝いのために来てくれた夫の友人と、親しげな口をきいたというだけで、妻は夫からなじられたのです。 結婚する前は自信に満ちてやさしく見えた 夫が、実は小心で嫉妬深い男だったことを知った妻は、夫がイヤでたまらなくなりました。

そして妻はあるとき、その自分の正直な気持ちを夫にぶつけたのです。 夫は激怒し、二人は離婚することになりました。 しばらくして夫は自分の常軌を逸した嫉妬心を反省し、妻に和解を申し入れました。

けれど妻はそれに応じませんでした。 これほど異常な嫉妬心を見せつけられた妻は、自分の生命の危険を感じたからです。 このように恐怖の心が植えつけられると、愛は消え去ります。

シェークスピアの『オセロ』ではムーア人の将軍が、皮膚の色ゆえに自信がなく、ちょっと冷静に考えれば底が割れる妄言に惑わされて、最愛の妻を嫉妬のあまり殺してしまう物語です。 自信のなさが嫉妬心を駆り立てたのです。

「愛と恐怖は共存できない」という言葉がありますが、恐怖がまされば愛は消えるという意味に考えれば、恐怖の恐さ、強力がわかります。 恐怖は愛の最大の敵であり、またそれは人生における最大の敵でもあるのです。